

# CLUB NEWS

## クラブニュース

・本欄はJARLの登録クラブの行事等を掲載しています。[夏号原稿締切：5月20日]  
 ・原稿を送る場合の文字数は、最大でも1行19字詰めで50行程度とします。  
 ・文字量が多い場合は掲載をお断りすることがあります。

### 原稿入稿について

- 文字数最大=19字詰め50行程度
- 締切=掲載希望月の前々月の20日
- 記号の意味
- 時日時 場場所 内容 周波数(モード) 申込(申請、書類提出)先 提出書類(方法) 問い合わせ先 参加資格 Eメールほか 注意 ク=クラブ 費用・申請料ほか 締切
- コンテストなどの結果は入賞局のみ掲載

## CONTEST

### コンテスト

### 2023JAG QSOパーティー (WARCバンド部門)

◇ジャパン・アワードハンターズグループ (JAG) 11-4-12 一般局同士も有効  
 時7月8日(土)6:00~9日(日)17:59JST 周10/18/24MHz帯 資すべてのアマチュア局、SWL <参加部門> 会員局、一般局を以下の3各部門 ○電話部門 ○電信部門 ○デジタル部門 各部門別々にエントリー可 ※最高で3部門 <交信相手>○会員局・一般局:全アマチュア局 ○SWL:会員局、会員局がおこなっている交信の受信 ※同一局の連続受信は不可 <コンテストナンバー> ○会員局:RST+M ○一般局:RSTのみ ○デジタル部門:通常交信 <呼出>○電話「CQ JAGパーティー」 ○電信「CQ JAG PTY」 ○JARL形式のログ ○サマリー参加部門には以下のように記入・コードナンバー欄:会員番号 ※一般局は空欄・名称欄:例)「会員・電話」「会員・電信」「会員・デジタル」「一般・電話」「一般・電信」「会員・SWL・電話」等 <賞>10局以上と交(受)信した書類提出者にQSOパーティーステッカーを発行 ○サマリー意見の欄に「ステッカー希望」「ステッカー不要」「ステッカー・台紙希望」の何れかを朱書きで記入 ○ステッカーを希望:住所・氏名を記入し84円切手を貼った返信用封筒を同封 ○ステッカーとステッカー台紙の両方を希望:宛名ラベル(手書き可)と切手140円分を同封 8月1日(火)消印有効 印郵便:〒286-0036 成田市加良部4-22-4-103 伊南栄治方 JAGパーティー事務局 ○Eメール:jm1atf@jarl.com

<その他>○書類提出のみ(ステッカーなど不要)の場合:メールによる書類提出を受付。提出先のアドレスまで ○ファイルを添付する場合はtxt形式またはcsv形式 ○サマリーシート・ログは、マルチ・得点欄が空欄でかまいませんが、サマリーシートの交信局数欄は記入

### ACC ロケーターコンテスト 2023

◇インターナショナルアワードチェイサーズクラブ(ACC) 1エリア支部 10-4-139 <目的>430MHz帯の活性化 ○6桁グリッドロケーター(以下GLと略)の普及 時6月19日(月)00:00~25日(日)23:59 ※7日間のマラソンコンテスト 資国内アマチュア個人局 ※社団局はACC支部所属社団局(JN1YMP, JN1ZGI 以下ACCクラブ局と略す)のみ。これらのACCクラブ局は得点サービスの運用 ※一般社団局(クラブ局)は除く 周430MHz帯 ※モードは全て、種目は設けない <参加部門>○メンバー部門 ○一般部門 <呼出方法>○電信「CQ ACC TEST」 ○電話「CQ ACCコンテスト」 <コンテストナンバー>RS(T)レポート(+M:ACCメンバー)+GL ○データ、画像、ATV等は電話や電信に準じる 注○日が違えば運用地の変更とACCクラブ局と重複交信可。ログに運用地の市郡区町村ナンバーあるいは名等を記入 ○ロールコール中の交信有効 <禁止事項>○呼出周波数における呼出・交信 ○2波以上の同時電波発射 ○レピータの使用 ○ACCクラブ局を除きモードに拘わらず同一局との重複交信 ○一般社団局(クラブ局)との交信 ○メンバー局の一般局としての参加 <得点>○ACCクラブ局+GLの交換交信:5点 ○ACCメンバー局+GLの交信:3点 ○一般局+GL交信:2点 ○GLの交換のない一般局、メンバー局との交信:1点 <マルチプレイヤー>運用日数(最大7マルチ)×異なるGLの数 <総得点>得点合計×マルチプレイヤー <チェックリスト>交信局数100局以上はチェックリストを提出 <失格事項>○提出書類の不備(文字判読困難な書類など) ○虚偽の報告 <審査>提出されたログ内容を事務局にて審査し禁止事項に抵触する書類は失

格 <入賞>メンバー部門と一般部門それぞれ1位、2位、3位の入賞局に賞状 ○同得点の順位は最終交信の日時間が早い局が上位 <参加賞>ログ提出時に84円切手を貼り住所氏名と郵便番号を記した長形4号封筒を同封局に送付 <結果発表> ACCBT9月号とACC HP他掲載予定 ○JARL形式のサマリーシート・ログシート(A4版)または同等のものに必要事項を記入して郵送 ○メール添付提出:JARL推奨R1.0, EXCELファイル等 印〒206-0001 東京都多摩市和田157-1-503 ACC#2372 多田良平 7L3UIE 印SASEまたはacc2372-713 iue@rainbow.dti.ne.jp 7月25日(火)(必着) ○CTESTWIN(4.33以降)に対応。詳細は<https://www.jarl.com/acc/ctestaccinfo.html>

### 第35回ALLJA1コンテスト

◇東京大学アマチュア無線クラブ 10-2-11 呼出方法・ログの提出方法(紙ログの受付を廃止・web提出のみ) 時6月24日(土)09:00~20:00 ※時間は部門によって異なるので注意 資全アマチュア局 周1.9~50MHz帯 <出力>○電信電話:免許まで ○デジタル:免許かつ30W <部門類別>次の各々について 電信・電信電話部門、1エリア内・1エリア外部門がある [シングルOP]○HIGHバンド部門(時間:09:00~12:00,周波数:14~50MHz帯,種目:各シングルバンドおよびオールバンド) ○LOWバンド部門(時間:16:00~20:00,周波数:1.9~7MHz帯,種目:各シングルバンドおよびオールバンド) ○デジタル部門(時間:13:00~15:00,周波数:7MHz帯,種目:オールバンド) [総合部門]すべてのシングルOP参加局について主催者側で改めて集計し、総合部門にも自動的にエントリー。得点は各部門の和 [マルチOP]前述HIGHバンド部門・LOWバンド部門・デジタル部門を通しての時間・バンドでの参加。種目はマルチOPHIGH & LOWオールバンド,マルチOPデジタルオールバンド [総合部門]すべてのシングルOP参加局について主催者側で改めて集計し、総合部門にも自動的にエントリー。得点は各部門の和を運用人数で割る <参加部門>○シングルOP部

門：HIGHバンド部門のうち1部門、LOWバンド部門のうち1部門、デジタル部門のうち1部門、合計3部門での参加が可能 例) HIGHバンド部門では21MHzシングルバンドで、LOWバンド部門ではオールバンド、デジタル部門ではオールバンドで参加できる ○マルチOP：HIGH&LOWバンド部門とデジタル部門の計2部門での参加が可能 <交信相手局> 電信・電話 1エリア内：国内で運用するすべてのアマチュア局 1エリア外：1エリア内で運用するアマチュア局(デジタル)国内で運用するすべてのアマチュア局 <呼出方法>○電話「CQ JA1 コンテスト」○電信「CQ JA1 TEST」○デジタル「CQ TEST」 <コンテストナンバー>○電信・電話 1エリア内：RS(T)+市郡区ナンバー 1エリア外：RS(T)+府県支庁ナンバー ○デジタル：RST+市郡区ナンバー <得点>完全な交信で1点 ※同一バンド内での同一局との交信は電信、電話、デジタルそれぞれ1回ずつ得点1点 <マルチプライヤー>○電信・電話 1エリア内：各バンドで交信した1エリア外の異なる府県支庁の数、1エリア内の異なる市郡区の数 1エリア外：各バンドで交信した1エリア内の異なる市郡区の数 ○デジタル すべて：各バンドで交信した異なる市郡区の数 <総得点>○シングルOP：得点の和×マルチの和 ○マルチOP：得点の和×マルチの和÷運用人数 書紙によるログ提出は受け付けません。webサイト(<http://allja1.org/>)での登録に移行(基本的にはweb提出で、やむを得ない場合はメール提出を受理) 7月15日(土) <結果発表>公式サイトにおいて結果を発表 <禁止事項等>○JARLコンテスト規約を準用 ○デジタル部門はFTRoundupコンテストの規約を準用 <補足>○シングルOPとマルチOP、または複数のマルチOP局を兼ねて運用できない 例1) シングルOP(J1QVWL/1)で参加し、マルチOP(JA1ZLO)でも運用した→× 例2) マルチOP(JA1ZLO)で運用し、他のマルチOP局(JA1YWX/1)でも運用した→× ※いずれか一方のみにエントリーし、他方をチェックログ ○HIGHバンド部門、LOWバンド部門、デジタル部門それぞれ異なった場所からの参加も可能。1エリア内外をまたいだ場合は総合部門は1エリア内として取扱う 9<http://ja1.zlo.u-tokyo.org/>

## 第5回鶴見川コンテスト 入賞局

◇横浜鶴見クラブ(JA1YJY) 11-1-64  
令和4年11月6日実施 ○丸数字：順位  
[流域内RS]①JJ2JGF/1 ②J1UPL/1 ③JM1LRQ ④JQ1PCT ⑤JA1GQC [流域外OS] ①JK1JHU ②JA1YTS/1 ③JR1MEG/1 ④JK1DVP/1 ⑤JQ1VDJ/1

[QRP流域内RS] ①JQ1WYB/1 ②JJ1XAS/1 ③JA1XYP/1 ④JF1JDG ⑤JP1BEG/1 [QRP流域外OS]①JR1UJX ②JA1CCX/1 ③7N4AJE/1 ④JH1VIX ⑤JA1TAZ/1

## オール旭川コンテスト

◇ハムラジオ大雪クラブ 01A-1-1 時  
6月10日(土)21:00~6月11日(日)15:00 <参加資格>日本国内のアマチュア無線局 9JARL主催コンテスト使用周波数帯 <参加部門・周波数帯>○HF(3.5/7/14/21/28MHzのCW,PH) ○VUHF(50/144/430MHzのCW,PH) ○ALL(3.5/7/14/21/28/50/144/430MHzのCW,PH) <呼出>○電信「CQ HRTC TEST」○電話「CQ 旭川コンテスト」 <コンテストナンバー>○RST符号によるシグナルレポートと運用地のJCC,JCGナンバーを交換 ※JCCの区ナンバーは東京都だけなので注意 ○HRTCクラブ員とメンバー局はRST+JCCまたはJCG+M(メンバー)を付ける <交信上の禁止事項>○クロスバンドによる交信 ○2波以上の電波の同時発射(マルチオペは除く) ○同一バンド内の交信は電波型式が異なっても一回 <得点>○9点：JA8YID局とM(メンバー)局との交信(M局は全国にいます) ○9点：旭川市内で運用する局との交信(移動も可) ○6点：旭川市内を除く北海道内で運用する局との交信(移動も可) ○3点：国内で運用する局との交信(移動も可) 注1) 移動も可：その地域に来て運用するとその地域の得点 注2) ハムラジオ大雪クラブ員はM(メンバー)局として、他エリアで運用してもM9点 注3) ロギングソフトによって得点認識方法が異なる。規約以外の記号やアルファベットを使用した場合はその旨意見欄に記入 例) Zlog：JCC,JCGの後ろにM,A,H,Tを付けてと得点が反映。M メンバー9、A 旭川市9、H 北海道6、T 他エリア3 <マルチプライヤー>各バンドの異なるJCCまたはJCGナンバーの数 ※JCCの区ナンバーは東京都だけなので注意 <総得点>各バンドで交信した得点の和×各バンドで得たマルチプライヤーの和 9JARL制定または同形式(可能な方は電子ログ(Eメール)をお願いします) 7月11日(火)消印有効 071-8691 旭川郵便局私書箱49号 ハムラジオ大雪クラブコンテスト係 ○電子ログ(Eメール) jg8lol@jarl.com 件名にファイル名、貴局のコールサインを半角大文字 <失格事項>JARLコンテストルール失格事項に準じる <表彰等>○発表：8月初旬、旭川コンテストのHP(<http://asahikawa-contest.jimdo.com/>)、JARL NEWS 秋号または冬号 ○表彰：各部門別1位~6位まで賞状、各部門別1位に副賞ふるさと特産品、

2位以下に厳正なる抽選で後日進呈

## 2023年十勝クラブ コンテスト

◇十勝アマチュア無線クラブ(JA8YAD) 01E-1-0001 5月20日(土)21:00~21日(日)21:00 日本国内のアマチュア無線局の免許を有するもの(個人局) 7/21/28/50/144/430MHz帯電信電話部門のみ ※上記以外の周波数での参加はできません ※JARL主催コンテスト周波数帯を厳守 29MHz FM 運用は28MHz帯に含む <部門>○管内局：十勝管内で運用する無線局(固定局・移動局) ○管外局：十勝管内以外の局および十勝クラブ特別会員局(GM)、十勝クラブ員(M)移動局 <種目>○個人局シングルバンド(7・21・28・50・144・430MHzの各バンド) ○個人局マルチバンド <呼出>「CQ十勝コンテスト」 「CQ TC TEST」 <コンテストナンバー>○管内局：RS(T)+市町村名または略記号+識別記号 ○管外局：RS(T)+都府県地域等名または都府県地域等ナンバー(番号) ※管外局の特別会員は識別記号(GM) マルチ適応です(都府県支庁番号)。十勝アワードAAA賞、取得者のみ <識別記号>○クラブ員：M ○AAA賞受賞している局：GM ○その他の管内局：0 ○管外局：記号なし <得点>M局との交信を5点、GM局との交信を10点、0局との交信を3点、管外局相互(一般局)の交信および記号なし局との交信はそれぞれ1点 <マルチプライヤー>○管内局：異なる都府県・地域等ナンバーおよび十勝管内19市町村 ○管外局：異なる十勝管内19市町村、および管外運用局のM、GM局と交信した都府県・地域等ナンバー ※マルチが1つ以上の場合はボーナスマルチが1ポイント加算 <総得点>○シングルバンド：当該バンド得点の和×当該バンドマルチの和 ○マルチバンド：各バンド得点の和×各バンドマルチの和 9JARL様式または同等様式(サマリーシート、ログシート) <厳守>申請は1種目のみとし、複数の申請は不可。申請は郵送のみとし、電子申請は受付しません。メール等に添付、申請も受けません 6月19日(月)消印有効 080-0013 帯広市西3条南8丁目10 帯広郵便局私書箱1号 十勝アマチュア無線クラブ 十勝クラブコンテスト係 9ja8xcv@jarl.com 神谷 結果等はJARL NEWS、CQ Ham radioに掲載予定 <その他>○各種目の上位入賞者に賞状 ○同一バンド内での重複交信は電波型式が変わっても認めない ○コンテスト参加中は同一の都府県、地域等(管外局)。1市町村内(管内局)での移動は可能 ○十勝管内で移動運用局、十勝クラブ特別会員局はその旨朱書き ○十勝クラブ特別会員

とは、アワード規定に基づき、ゴールドAAAを受賞した局(GM)【十勝管内市町村略記号】帯広市OB 音更町OT 土幌町SR 鹿追町SK 新得町SI 清水町SM 芽室町ME 幕別町MB 池田町IK 豊頃町TO 中札内村NS 浦幌町UR 広尾町HI 大樹町TI 更別村SA 足寄町AS 本別町HN 陸別町RI 上土幌町KA

### 第35回羽曳野コンテスト

◇羽曳野無線クラブ 25-1-40 時〇4月15日(土)09:00~12:00(JST): ①部門 〇4月16日(日)09:00~12:00(JST): ②③部門 <参加部門>① 電信電話7MHzバンド 土曜日09:00~12:00(JST) ② 電信電話50MHzバンド 日曜日09:00~12:00(JST) ③ 電信電話144MHzバンド 日曜日09:00~12:00(JST) ※社団局はシングルオペレーターに限る ㊄JARLのコンテスト使用周波数帯を使用<呼出>〇電話「CQ 羽曳野コンテスト」〇電信「CQ HMC TEST」<コンテストナンバー>ORS (T)+運用場所のJCC, JCGナンバー 〇羽曳野無線クラブ員: RS (T)+運用場所のJCC, JCGナンバー+M <交信中の禁止事項>〇クロスバンドによる交信 〇同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射 〇コンテスト期間中の運用地点は、同一JCCまたはJCG内 <得点>〇羽曳野市内の局または羽曳野無線クラブ員との交信: 10点 〇大阪府内の局との交信: 2

点 〇大阪府外の局との交信: 1点 注) 同一バンドにおいて同一局とは、電信・電話それぞれ一交信ずつ有効 <マルチプレイヤー>異なるJCC, JCGの数(行政区は不可) <総得点>得点の和×マルチプレイヤーの和 <必修条件>3エリアの局で得点2点以上 ㊄〇JARL様式に準じる 〇書類は土曜日・日曜日の全3部門それぞれに提出できる ㊄5月22日(月)当日消印有効 ㊄〇〒583-0872 羽曳野市はびきの6-1-25 小谷方 羽曳野無線クラブ事務局 コンテスト係 〇jif3xwn@jarl.com <表彰>各部門ごとに、入賞者には賞状(PDFファイル) ※参加部門②③について3エリア以外での上位局も表彰 <その他>コンテスト結果ならびに参加賞を希望の方はSASE(返信先を明記し120円切手を貼った封筒)同封で請求

## AWARD

アワード

### 阪神クラブ創立70周年記念賞

◇JARL 阪神クラブ 27-01-01 時「阪神クラブ創立70周年記念賞」はこの規程により発行 <条件>阪神間7市(尼崎市、伊丹市、川西市、宝塚市、西宮市、芦屋市、神戸市)で運用する異なるアマチュア無線局7局と交信、かつ7市すべてを含む ※同じ局は運用地、バンド、モードが異なっても1回しか使えないが「阪神クラブ創立70周年記念賞」に限り、クラブ局であるJA3YAAとの交信については日付、周波数帯、電波型式のいずれかが異なる場合の

交信はそれぞれ7市との交信に代用できる <対象期間>〇交信の有効期間: 2023年1月1日~2024年3月31日 〇アワードの申請受付期間: 2023年4月1日~2024年6月30日 ㊄本賞と併行して従来の「阪神クラブ賞」の発行も継続しているため、申請間違えないよう、どちらのアワードの申請が明記 ㊄申請書: JARL発行アワードの申請書に準じた自己宣誓方式とし、該当する交信のリストとともに申請先に送付 ㊄前田充彦 JL3WXS j13wxs@jarl.com <他>詳細は当クラブHP <https://ja3yaa.stars.ne.jp/portal>にて確認

## ETC

その他

### 高槻市制施行80周年記念局

◇高槻アマチュア無線クラブ 25-1-06 時高槻市制施行80周年を記念して、記念局: 8N3TKを開設 時1月1日~12月31日までの1年間運用予定 〇無線局は50W/10Wの出力の移動局。クラブ員により主として高槻市内からオールバンド、FT8、D-STARを含むオールモードで運用 〇QSLカードはJARL会員に対して発行。ダイレクトを希望される方はSASE 〇eQSLを準備中ですが、LoTWは対応しません ㊄JR3GGR 鈴木伸一郎 jr3ggr@jarl.com ㊄<https://www.jarl.com/takatsuki/>

# QSP

## 会員の情報広場

本欄は、JARL会員の皆さんのおこなう行事等を掲載しています。(原稿ご送稿の文字数などは、クラブニュース欄と同様です)

## イベント

### カードラリーGIFU2023 樽見鉄道&養老鉄道 双六紀行

◇カードラリーGIFU2023実行委員会 時4月1日(土)~9月30日(土) 時〇期間中に、メンバー局と31回交信する ※QSLカードの取得は不要。同一局とは1日に1回限り有効 〇メンバー局1局のみと31回交信するとオンリー申請とする ※一度申請に使用した交信データは、次回以降の申請には使用不可。申請は、複数回できるが、申請書1通ごとに申請料 〇申請した局には、記念品を贈る ※1回目の申請は、貴局のコールサインを刻印した

2Lサイズの木製プレート、5回目の申請にはA5サイズの亚克力プレート、10回目の申請にはB5サイズの亚克力プレート、20回目の申請にはカードラリー特製ダイヤリーと岐阜の名産品。それ以外の回数の申請には、達成証を送る。参加者全員で抽選、オンリー申請別枠抽選、豪華賞品用意 ㊄4月1日(土)~10月7日(土) 〒501-0232 岐阜県瑞穂市野田新田4010-9 JH2WFZ 上杉郷一 ㊄申請料: 500円 定額小為替、振込、切手も可複数回まとめたの申請可 ㊄所定の申請書HPよりダウンロード ㊄jh2wfz@jarl.com ㊄メンバー: JL2JRO, JE2RPY, JG2EAT, JG2MNK, JG2VCQ, JH2LYU, JH2WFZ, JI2EQL, JI2FUI,

JK2HOZ, JM2VVH, JO2BWZ, JQ2KPJ, JR2GEF, JH0HOD ㊄<https://qslcard2023.nomaki.jp/> 参照

## コンテスト

### 第38回6mAMコンテスト

◇3エリア6mAMロールコール・グループ 時5月4日(木/祝)09:00~15:00 ㊄28/50/144/430/1200MHz帯 〇430MHz 09:00~10:30 〇50MHz 10:00~14:00 〇28MHz 10:30~12:00 〇1200MHz 12:00~13:30 〇144MHz 13:30~15:00 <電波型式>AM (A3Eの全搬送波またはH3E) <部門>28MHzの部、50MHzの部、144MHzの部、430MHzの部、1200MHzの部、マルチバンドの部 <呼出>「CQ AMコンテスト」 <コンテストナンバー>RS+都府県地域ナンバー+使用送信機名(例: FT818ND, IC9700, TS600改, 自作) <得点>異なる局との完全な交信を1点、

自作機・改造機を使用した局は完全な交信を2点 <マルチプライヤー>全国の異なる都府県・北海道の地域数+異なる送信機数 <各バンドの総得点>得点の和×マルチの和 <賞>参加局数に応じて全国3

位まで ○エリアごとに参加局数に応じて表彰 ㊟JARL 制定のログ・サマリーシートまたはこれと同形式のもの ○書類は部門ごとに分けて作成 ○電子メールによるログ提出もOK、フォーマットは提出

先まで問い合わせること ㊟5月31日(水)消印有効 ㊟〒569-1123 大阪府高槻市芥川町1-2-A-3002 竹中信雄 ㊟ja3xqo@jarl.com ㊟提出先までEメール等で

## 地方だより追加分

8エリア

# 北海道地方

## 釧路根室

### 第42回オール釧根コンテスト

日時 6月4日(日)9:00~21:00

参加資格 国内のアマチュア無線局・SWL

使用周波数 1.9~1200MHz (WARCを除く) ※JARL

主催コンテスト使用周波数を厳守

参加部門 次の内1部 注)個人局オールバンド部門はHF帯とVU帯の両バンドでそれぞれ1つ以上の周波数帯でのQSOが必要

部門・種目		電信部門		電信電話部門	
		コードNo		コードNo	
		管内局	管外局	管内局	管外局
個人局	HFバンド (1.9~28MHz)	CHF	WHF	KHF	XHF
	VUバンド (50~1200MHz)	CVU	WVU	KVU	XVU
	オールバンド (1.9~1200MHz)	CHV	WHV	KHV	XHV
社団局	オールバンド (1.9~1200MHz)			KOB	XOB
SWL	オールバンド (1.9~1200MHz)			KSWL	XSWL

呼出 ○電信「CQ SK TEST」 ○電話「CQ オール釧根コンテスト」

コンテストナンバー ○管内局:RS(T)+市郡ナンバー ○管外局:RS(T)+都府県ナンバー(管内以外の道内局は振興局ナンバー)

交(受)信相手 ○管内局:管内局を含む国内のアマ

チュア無線局 ○管外局・SWL:釧路・根室振興局管内のアマチュア局

得点 ○アマチュア局:完全な交信で1点 ○SWL:管内局と管外局・管内局と管内局との交信の完全な受信で1点 ※同一バンド内における同一局との交信・受信は電波型式が異なっても得点にならない

マルチプライヤー ○管内局:46都府県・釧路根室振興局以外の12振興局・釧路根室振興局の市郡・小笠原 ○管外局:釧路・根室振興局の市郡

総得点 各バンドでの得点の和×各バンドのマルチの和賞 管内局・管外局とも各部門3位まで賞状 ※参加証は発行しません ○参加局から管内・管外1局ずつ、支部大会において抽選で釧路根室の名産品を贈る(管内局は支部大会参加局から抽選)、管外局の当選者には直接連絡のうえ発送

書類提出 ○JARL制定のサマリーとログシート(または同形式)でA4縦厳守 ○E-LogはJARLフォーマットに準じる(R1.0形式での提出をお願いします)

提出締切 6月20日(火)当日消印有効 電子ログは6月20日23:59

提出先 ○〒085-0826 北海道釧路市城山1-11-22 中村俊明 方 JARL釧路根室支部コンテスト委員会 ※封筒に「釧路根室支部コンテストログ在中」と記入 ○電子ログ:sk\_test@zmail.plala.or.jp まで

その他の注意 ○ゲストオペレーターの運用は認めない ○社団局は運用者の呼出符号または氏名、無線従事者資格をサマリーシートの意見欄に記入 ○その他の失格事項はJARLコンテスト規約に準じる

【管内市郡ナンバー(マルチプライヤー)】釧路市0106 根室市0123 阿寒郡01001 厚岸郡01003 川上郡01026 釧路郡01027 標津郡01033 白糠郡01038 野付郡01055 日梨郡01069

## ■電波は譲りあって使いましょう

アマチュア無線の運用を開始する際には、運用を開始する周波数で、他の局が運用をしていないか十分に確かめるのは当然として、自分の電波が他の無線通信に混信や妨害を与えないように、十分に注意しながら運用することが必要です。

アマチュア局の中には弱い電波の局もあれば、自分の受信機では単なる雑音としか聞こえない特殊な電波型式で運用している局もありますので、常に他の局に迷惑をかけることのない運用を心がけましょう。

## ■SSBモードでの運用について

アマチュア無線家の皆様の中には、日頃はFMモードによる運用が中心の方々も多いと思います。

SSBモードでのアマチュア無線の運用は、全世界的に3.5/3.8/7MHz帯ではLSB(下側波帯のSSB)、14MHz帯以上の周波数帯では、USB(上側波帯のSSB)を使用するという長年の国際的な慣習があります(衛星通信ではダウンリンクがLSBになる場合があります)。特にHF帯で運用される場合、LSB/USBの切り替えを忘れないように十分にご注意ください。